

平成18年度の財務諸表について

今般、公立大学法人岩手県立大学は、平成18年度の財務諸表等が、平成19年9月18日、岩手県知事の承認を受けましたので、ここに公表します。

今回の決算は、本学が公立大学法人となって第2期目となる決算であり、財務諸表は、企業会計原則を基本にしつつ、公立大学法人特有の会計制度を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものです。

本学の財務諸表では、平成19年3月31日現在の資産合計は、約334億1千1百万円、経常費用合計約61億4千5百万円、経常収益合計約66億3千1百万円、臨時損益を加えた当期総利益は約4億8千6百万円となっております。

この当期総利益のうち約4億7千3百万円が岩手県知事の承認を受けることによって、教育研究・施設環境充実等のための目的積立金として、翌事業年度以降の中期計画を遂行するために使用することが可能になります。

なお、本学においては、大学運営経費の約7割が県からの運営交付金で賄われておりますが、運営交付金については、△1.5%の経営努力係数により毎年減額される見込みとなっており、極めて厳しい財政運営が求められることから、今後、更なる教育研究活動の充実・発展のため、より一層の経営努力と業務運営の効率化を図りながら、財政内容の改善・充実に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

公立大学法人岩手県立大学